



# ひなどり

園だより 10月号  
令和4年9月30日  
新潟市立新津第三幼稚園

## 「がんばったね運動会」

園長 川合 千尋

前回、子どもたちが遊びの中で様々な発見をしたり、言葉を覚えたりするための環境を整えているのが幼稚園の教職員であるということを書きました。子どもたちが気付いたり、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようにするため、また、友達の様々な考えに触れ、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わえるよう毎日様々な環境を創っていることに触れました。

先日の運動会練習でもそんな環境が随所にありました。例えば、玉入れの練習中、あえてかごの高さが違うものを用意して、公平に競技をするためにはどうしたらよいか考えさせたり、綱引き遊びの中でもどうしたら公平に競技することができるか考えさせたりしていました。また、興味走で使う道具をふだんの遊びで使えるように遊び場に何気なく置いておいたり、他の学年の子どもたちが練習している様子に気持ちを向けられるよう声をかけたりしていました。その他、言葉での表現がまだうまくできない子どもたちには、楽しさを実感できる手助けとして「楽しいね。」「なかよしだね。」と言葉を補う声かけをしていました。

そういった教職員の援助や環境づくりのおかげもあって、9月23日の運動会では、子どもたちが自分なりに考えて行動することができたり、友達同士励まし合ったりする場面をたくさん見ることができました。また、大勢の保護者の皆様からお越しいただき、熱い声援があったおかげで、最後までがんばり抜く姿も見ることができました。ありがとうございました。

これからも第三幼稚園では、様々な教育活動の中で、子どもたちの「自ら学ぶ力」を引き出せるように、また「学ぶ楽しさ」を創り出すためにも、教職員のタイミングのよい適切な支援や気付きを引き出す環境づくりを大切にして、質の高い教育を目指します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

